

# **PRIMERGY オプション製品**

---

## **システム構成図(留意事項編)**

## サーバ監視ソフト ServerViewについて

サーバ監視ソフトServerViewでは以下のような機能があります。

[ Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003/Windows® 2000 ]

項目	ServerView
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 電源投入/切断スケジュール（一部未サポートモデルあり） パフォーマンス監視 （CPU負荷率、PCIバス負荷率など）
アラート機能 （異常通知方法）	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス（監視対象サーバ上、管理サーバ上） ボケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート	
使用メモリ	16～32MB

サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログオンしていないと表示されません。  
ログオンしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。  
また、イベントログにて発生を確認することができます。

[ Red Hat Enterprise Linux/SUSE Linux Enterprise Server/VMware® ]

項目	Linuxサーバ上	監視用Windows端末
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 * Web Extension/ ServerView S2使用による	サーバ状態監視 電源投入/切断 スケジュール運転設定 * モデルによる パフォーマンス監視 (CPU負荷率、PCIバス負荷率など) しきい値マネージャは使用できません。
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート		-
使用メモリ	32MB以上	16 ~ 32MB

\*LinuxサーバよりSNMPトラップを受信しての処理となる

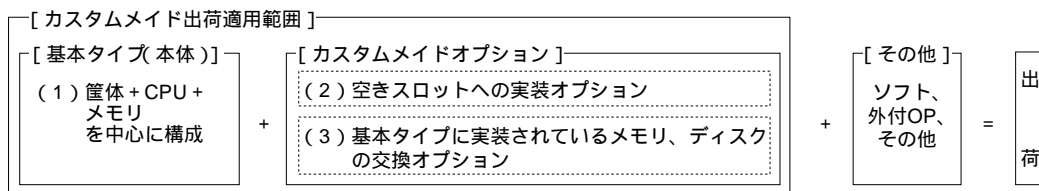
## カスタムメイド出荷について

カスタマイズ出荷とは、ハードウェアの標準構成をメモリ / ディスク等のオプションごとにお客様の仕様に合わせて追加/変更し、本体に実装して出荷することのできる形態です。

カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

## 1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について

カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「基本タイプ（本体）」と「カスタムメイドオプション」から構成されます（下図参照）。それ以外の製品に関しては、従来通り、製品単位で出荷されます。



「カスタムメイド適用製品一覧」

(1) 基本タイプ(本体)

TX150 S5/TX200 S2/TX200 S3/RX100 S3/RX200 S2/RX200 S3/RX300 S2/RX300 S3/RX600 S3/BX620 S2/BX620 S3の全タイプが対象となります。  
(TX150FT S4/TX200FT S2/オールインワンタイプを除く。)

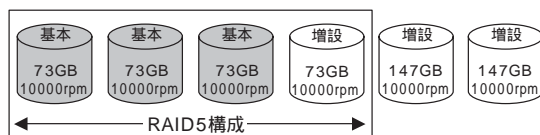
(2) カスタムメイドオプション：空きスロットへの実装オプション

PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注：FMVとの共通製品等を除く)。

2. アレイタイプ（RAID5構成）におけるオプションHDDのカスタムメイド出荷について（オールインワンタイプを除く）

アレタイプ (RAID5構成) でオプションHDDを手配した場合、基本HDD、および基本HDDと同一容量 / 同一回転数 / 同一型名のオプションHDDはRAID5で構成されます。それ以外のオプションHDDは初期化されておりませんので初期化処理を行ってからご使用ください。

[例]



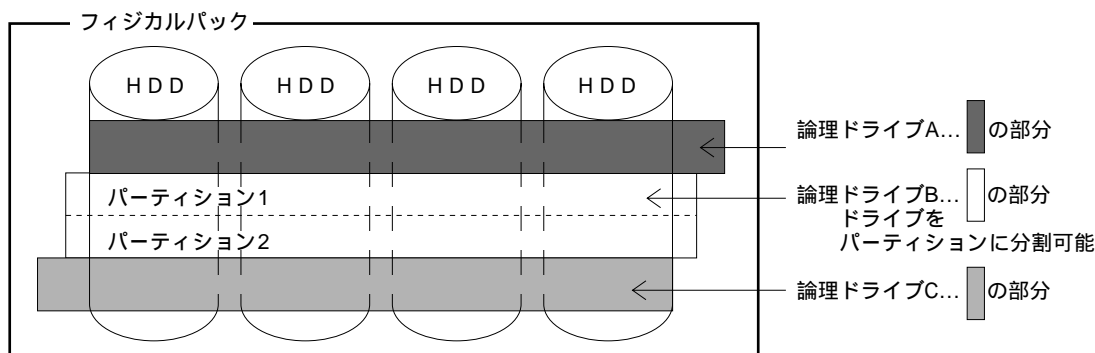
### 3. ディスクレスタイプにおけるカスタムメイド出荷について

ディスクタイプでOSをインストールする際には、予定外の装置に間違ってOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先のハードディスク以外のオプション装置（ハードディスク、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等）を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。カスタムメイド手配時にはご注意願います。

## ハードディスク関連事項

### ディスクアレイ構成の考え方

- ・フィジカルバック・・・1つのRAIDを構成する物理的なHDDの集まり。
- ・論理ドライブ・・・OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション・・・OSで設定する論理ドライブを分割したアクセス論理単位。

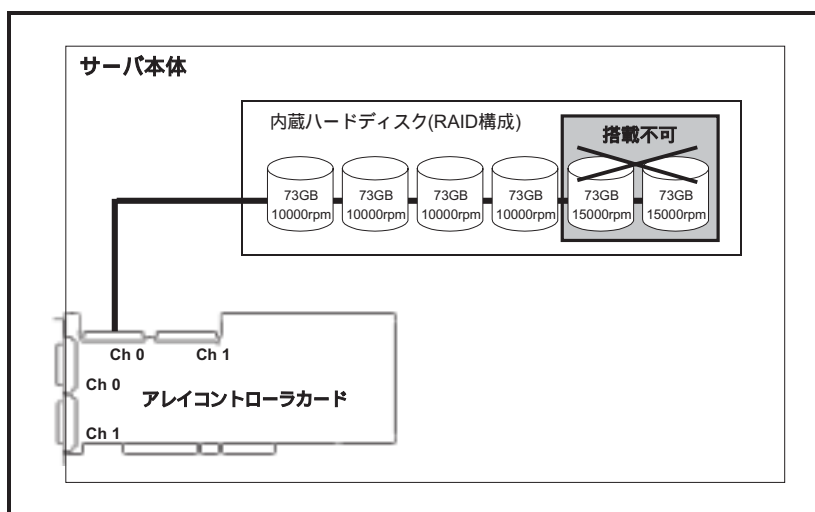


### < 構成規則について >

- (1) フィジカルバックは必ず同じ型名のハードディスクユニットで構成してください。
- (2) フィジカルバックを構築する場合、合計サイズが2TBを越えないように設定してください。  
論理ドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
- (3) 1つのフィジカルバックを構成するハードディスクユニットの台数は以下のとおりです。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ RAID0 (性能向上のために、データを複数ディスクへ分割して書込む方式)</li> <li>・ RAID1 (信頼性向上のために、ディスクを二重化し同一データを書込む方式)</li> <li>・ RAID5 (信頼性向上のために、データを分割しパリティを加えて書込む方式)</li> <li>・ RAID0+1(10) (信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)</li> </ul>	<div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="font-size: 2em;">}</div>	<div style="font-size: 2em;">—</div> <div style="font-size: 2em;">—</div> <div style="font-size: 2em;">—</div> <div style="font-size: 2em;">—</div>	<div style="font-size: 2em;">2 ~ 16台</div> <div style="font-size: 2em;">2台</div> <div style="font-size: 2em;">3 ~ 16台</div> <div style="font-size: 2em;">4 ~ 16台</div>	<div style="font-size: 2em;">[</div> <div style="font-size: 2em;">]</div> <div style="font-size: 2em;">[</div> <div style="font-size: 2em;">]</div> <div style="font-size: 2em;">[</div> <div style="font-size: 2em;">]</div> <div style="font-size: 2em;">[</div> <div style="font-size: 2em;">]</div>	<div>論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の総和</div> <div>論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の1/2</div> <div>論理ドライブの実効データ容量は(接続したディスク台数 - 1)台分</div> <div>論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の1/2</div>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(偶数台のみ構成可能)
- (4) 1つのフィジカルバックを複数の論理ドライブに分割した場合の各論理ドライブのRAIDレベルは同じものしか設定できません。
- (5) 1つのフィジカルバックは必ず、同一のアレイコントローラカードにつながるハードディスクで構成してください。
- (6) 1枚のアレイコントローラカードで複数のフィジカルバックを設定することが可能です。但し、ハードディスクユニットは以下の条件を満たす必要があります。
  - ・フィジカルバックは同型名のハードディスクで構成する。
  - ・複数のフィジカルバックを同容量のハードディスクで構成する場合は、すべて同型名のハードディスクで構成する。
- (7) 1枚のアレイコントローラカードで複数の異なるRAIDレベルの設定が可能です。但し、以下の条件を満たす必要があります。
  - ・同一フィジカルバック内の理論ドライブは同一のRAIDレベルとする必要があります。
  - ・1つのフィジカルバック内には複数の理論ドライブが作成できます。(最大8個)
- (8) ホットスペアディスクはフィジカルバック中に接続されている同型名のハードディスクで設定して下さい。
- (9) 異なるハードディスクを使用した複数のフィジカルバックが存在する場合にホットスペアディスクを設定する場合は、各々のフィジカルバックに対して同型名のホットスペアディスクを最低1台設定して下さい。
- (10) 1枚のアレイコントローラカード内で、同容量でかつ回転数の異なるハードディスクを混在させることはできません。



- (11) サーバ本体内部のハードディスクは必ず1枚のアレイコントローラカードでRAIDを構成する必要があります。

## ハードディスクキャビネット / SASアレイコントローラカード / SCSIアレイコントローラカード / SCSIカードの注意事項

## ハードディスクキャビネットについて

OSは必ずサーバ本体内部ハードディスクにインストールする必要があります。

## SASアレイコントローラカード[PG-140F]について

SASアレイコントローラカードはサーバ本体1台につき1枚のみ搭載可能です。

SASアレイコントローラカードに接続可能なハードディスクはサーバ本体内部ハードディスクのみです。

サーバ本体内部ハードディスクはサーバ標準搭載のSASコントローラを使用して接続します。

RAID0/1/5において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/  
Windows Server® 2003/Windows® 2000のみサポート)

## SASアレイコントローラカード[PG-140FL]について

SASアレイコントローラカードはサーバ本体1台につき1枚のみ搭載可能です。

SASアレイコントローラカードに接続可能なハードディスクはサーバ本体内部ハードディスクのみです。

サーバ本体内部ハードディスクはサーバ標準搭載のSASコントローラを使用して接続します。

RAID0/1/5において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/  
Windows Server® 2003/Windows® 2000のみサポート)

RAID0 + 1(10)の構成はできません。

## オンボードSASアレイコントローラ[RX300 S3標準搭載]について

SASアレイコントローラに接続可能なハードディスクはサーバ本体内部ハードディスクのみです。

RAID0/1/5において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/  
Windows Server® 2003/Windows® 2000のみサポート)

RAID0 + 1(10)の構成はできません。

## オンボードSASアレイコントローラ[TX150 S5/RX200 S3/BX620 S3標準搭載]について

オンボードSASアレイコントローラに接続可能なハードディスクはサーバ本体内部ハードディスクのみです。

オンボードSASアレイコントローラでRAIDを構成する場合は、同容量/同回転数のハードディスク2台のみ接続可能です。

オンボードSASアレイコントローラで作成できる論理ドライブは1つのみです。

## SASコントローラ[TX200 S3標準搭載]について

SASコントローラに接続可能なハードディスクはサーバ本体内部ハードディスクのみです。

SASコントローラでRAIDを構成する場合は、同容量/同回転数のハードディスク2台のみ接続可能です。

SASコントローラで作成できる論理ドライブは1つのみです。

## SCSIアレイコントローラカード[PG-140D1]について

SCSIアレイコントローラカードはサーバ本体1台につき1枚のみ搭載可能です。

SCSIアレイコントローラカードに接続可能なハードディスクはサーバ本体内部ハードディスクのみです。

サーバ本体内部ハードディスクはサーバのオンボードSCSIを使用して接続します。

RAID0/1/5において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/  
Windows Server® 2003/Windows® 2000のみサポート)

Linux環境でSCSIアレイコントローラカードを使用する場合は、ディスクアレイの設定、監視のために、別途、監視用のWindows端末が必要になります。

## SCSIアレイコントローラカード[PG-142E3/PGB142E3B]について

RAID0/1/5において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/  
Windows Server® 2003/Windows® 2000のみサポート)

Linux環境でSCSIアレイコントローラカードを使用する場合は、ディスクアレイの設定、監視のために、別途、監視用のWindows端末が必要になります。

## オンボードSCSIアレイコントローラ[RX300 S2/RX600 S3標準搭載]について

オンボードSCSIアレイコントローラに接続可能なハードディスクはサーバ本体内部ハードディスクのみです。

RAID0/1/5において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/  
Windows Server® 2003/Windows® 2000のみサポート)

Linux環境でオンボードSCSIアレイコントローラを使用する場合は、ディスクアレイの設定、監視のために、別途、監視用のWindows端末が必要になります。

## オンボードSCSIアレイコントローラ[RX100 S3/RX200 S2/BX620 S2標準搭載]について

オンボードSCSIアレイコントローラに接続可能なハードディスクはサーバ本体内部ハードディスクのみです。

オンボードSCSIアレイコントローラでRAIDを構成する場合は、同容量/同回転数のハードディスク2台のみ接続可能です。

オンボードSCSIアレイコントローラで作成できる論理ドライブは1つのみです。

Linux環境でオンボードSCSIアレイコントローラを使用する場合は、ディスクアレイの設定、監視のために、別途、監視用のWindows端末が必要になります。

## システム構成図留意事項

## SAS / SCSIアレイコントローラカード接続方法

：接続可能、×：接続不可

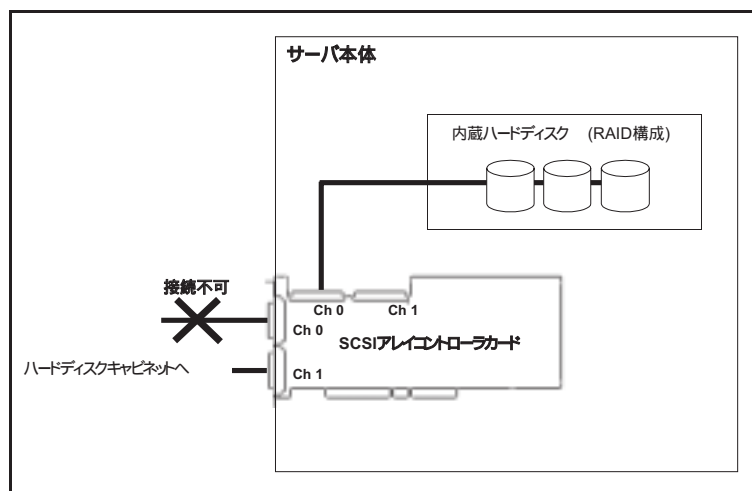
SASアレイコントローラカード		PG-140F (SAS, 0port)			PG-140FL (SAS, 0port)		
接続先		内蔵ハードディスク	ハードディスク キャビネット	内蔵ハードディスク/ ハードディスク キャビネット同時	内蔵ハードディスク	ハードディスク キャビネット	内蔵ハードディスク/ ハードディスク キャビネット同時
TX150 S5			×	×	×	×	×
TX200 S2	標準ドライブケース	×	×	×	×	×	×
	基本ドライブケース交換機構適用時	×	×	×	×	×	×
	標準ドライブケース + 内蔵ハードディスクベイ交換機構適用時	×	×	×	×	×	×
TX200 S3	標準ドライブケース	×	×	×		×	×
	標準ドライブケース + 内蔵ハードディスクベイ交換機構適用時	×	×	×	×	×	×
RX100 S3		×	×	×	×	×	×
RX200 S2		×	×	×	×	×	×
RX200 S3	標準PCIスロット	×	×	×	×	×	×
	基本カードスロット交換機構適用時	×	×	×	×	×	×
RX300 S2	標準PCIスロット	×	×	×	×	×	×
	基本カードスロット交換機構適用時	×	×	×	×	×	×
RX300 S3	標準PCIスロット	×	×	×	×	×	×
	基本カードスロット交換機構適用時	×	×	×	×	×	×
RX600 S3		×	×	×	×	×	×
BX620 S2		×	×	×	×	×	×
BX620 S3		×	×	×	×	×	×

SCSIアレイコントローラカード		PG-140D1 (Ultra320 SCSI, 0ch)			PG-142E3 (Ultra320 SCSI, 2ch, バッテリーバックアップ機能)		
接続先		内蔵ハードディスク	ハードディスク キャビネット	内蔵ハードディスク/ ハードディスク キャビネット同時(*1)	内蔵ハードディスク	ハードディスク キャビネット	内蔵ハードディスク/ ハードディスク キャビネット同時(*1)
TX150 S5		×	×	×	×	×	×
TX200 S2	標準ドライブケース		×	×			
	基本ドライブケース交換機構適用時		×	×			×
	標準ドライブケース + 内蔵ハードディスクベイ交換機構適用時		×	×			×
TX200 S3	標準ドライブケース	×	×	×	×		×
	標準ドライブケース + 内蔵ハードディスクベイ交換機構適用時	×	×	×	×		×
RX100 S3		×	×	×	×	×	×
RX200 S2		×	×	×	×		×
RX200 S3	標準PCIスロット	×	×	×	×		×
	基本カードスロット交換機構適用時	×	×	×	×	×	×
RX300 S2	標準PCIスロット	×	×	×	×	×	×
	基本カードスロット交換機構適用時	×	×	×	×	×	×
RX300 S3	標準PCIスロット	×	×	×	×	×	×
	基本カードスロット交換機構適用時	×	×	×	×	×	×
RX600 S3		×	×	×	×		×
BX620 S2		×	×	×	×	×	×
BX620 S3		×	×	×	×	×	×

\*1：1枚のSCSIアレイコントローラカードで内蔵ハードディスクおよびハードディスクキャビネットを同時接続する場合は、  
「SCSIアレイコントローラカードの内蔵ハードディスク／ハードディスクキャビネット同時接続について」を参照下さい。

## SCSIアレイコントローラカードの内蔵ハードディスク／ハードディスクキャビネット同時接続について

1枚のSCSIアレイコントローラカードで内蔵ハードディスク／ハードディスクキャビネットを同時接続する場合には、  
内蔵ハードディスクとハードディスクキャビネット接続用にそれぞれチャンネルを分ける必要があります。  
同一チャンネルにおける内蔵ハードディスク／ハードディスクキャビネットの同時接続はできません。  
またホットスワップディスクを設定する場合は内蔵ハードディスクとハードディスクキャビネット接続用に  
それぞれ別のSCSIアレイコントローラカードが必要となります。



SCSIカード[PG-128/1281/130L/1301L]について

本カード1枚に外付SCSI装置と内蔵SCSI装置を同時に接続することはできません。

その際は、カードを分けて接続してください。

本カード1枚に接続できる外付けSCSI装置の台数は、

- (1) バックアップキャビネットを除く外付けSCSI装置は最大2台までのデジチェーン接続が可能です  
(カートリッジテープ装置はデジチェーン接続不可)

SCSIカード[PG-129B]について

：本カードは内蔵SCSI装置にのみ接続可能です。

#### 接続可能なハードディスクキャビネット数について

ハードディスクキャビネット			TX150 S5	TX200 S2	TX200 S3	RX100 S3	RX200 S2	RX200 S3	RX300 S2	RX300 S3	RX600 S3	BX620 S2	BX620 S3
	型名	チャンネル数											
PRIMERGY SX30 (ラックマウント)	PG-R1DC7	2	-	2	2	-	1	1	2	2	2	-	-
PRIMERGY SX30 (タワー)	PG-DC107	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-

## メモリ関連事項

#### OSにおける使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意ください。使用可能メモリ容量は以下の通りです。

(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります。)

OS	使用可能メモリ容量
Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	4GB
Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	32GB
Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	32GB
Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	1TB
Windows Server® 2003, Standard Edition	4GB
Windows Server® 2003, Enterprise Edition	32GB
Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	32GB
Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	1TB
Windows® 2000 Server	4GB
Windows® 2000 Advanced Server	8GB
Windows® Small Business Server 2003 R2	4GB
Windows® Small Business Server 2003	4GB
Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)	8GB
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	12GB
Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)	12GB
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	12GB
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	16GB
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	64GB
SUSE Linux Enterprise Server 9 for x86	12GB
VMware® ESX Server 2	64GB
VMware® Infrastructure 3	64GB

## バックアップ装置関連事項

## バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

## &lt; Windows関連 &gt;

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Windows® 2000 Server/ Advanced Server				Windows Server® 2003, Standard Edition/ Enterprise Edition				備考
					NTBACKUP	BrightStor™ ARCserve® Backup Release 11	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.1	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NTBACKUP	BrightStor™ ARCserve® Backup Release 11	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.1	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	
VXA装置	PG-VX201	VXA-2	80	6.0	Server Start				Server Start				・定期的なクリーニング必須
LTO装置	PG-LT201 PGBLT201C PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24	x	x				x			・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT301	LTO3 (Ultrium3)	400 (*1)	80 (*2)	x	x	x			x	x		
	LT13**B*	LTO2 (Ultrium2) ライブラリ	6000   12000	30	x				x				・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT21HLB1		1600	35	x	x	x		x	x	x		
	LT13**C*		12000 24000	80	x	x			x	x			
	LT22HLC1	LTO3 (Ultrium3) ライブラリ	6400		x	x	x		x	x	x		
DAT装置	PG-DT501 PGBDT501C	DAT72	36	3.0	Server Start				Server Start				・定期的なクリーニング必須
	PG-DT502			3.5	Server Start (*3)	(*3)	(*3)	(*3)	Server Start				
	PG-DT502D2				Server Start				Server Start				
	PG-DT503D				Server Start	x	x		Server Start	x	x		
	PG-DT504			3.0	Server Start (*5)	x	x		Server Start	x	x		
	PG-DT5041				Server Start (*5)	x	x		Server Start	x	x		

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Windows Server® 2003, Standard x64 Edition/ Enterprise x64 Edition		Windows Server® 2003 R2, Standard Edition/ Enterprise Edition		Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition/ Enterprise x64 Edition		Windows® Small Business Server 2003	Windows® Small Business Server 2003 R2	備考
					NTBACKUP	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NTBACKUP	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NTBACKUP	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NTBACKUP	NTBACKUP	
VXA装置	PG-VX201	VXA-2	80	6.0	(*4)		Server Start		(*4)		Server Start	Server Start	・定期的なクリーニング必須
LTO装置	PG-LT201 PGBLT201C PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24									・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT301	LTO3 (Ultrium3)	400 (*1)	80 (*2)									
	LT13**B*	LTO2 (Ultrium2) ライブラリ	6000   12000	30	x		x		x		x	x	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT21HLB1		1600	35	x		x		x		x	x	
	LT13**C*		12000 24000	80	x		x		x		x	x	
	LT22HLC1	LTO3 (Ultrium3) ライブラリ	6400		x		x		x		x	x	
DAT装置	PG-DT501 PGBDT501C	DAT72	36	3.0	Server Start		Server Start				Server Start	Server Start	・定期的なクリーニング必須
	PG-DT502			3.5	(*4)		Server Start				Server Start	Server Start	
	PG-DT502D2				(*4)						x	x	
	PG-DT503D				Server Start		Server Start		Server Start		x	x	
	PG-DT504			3.0	Server Start		Server Start		Server Start		x	x	
	PG-DT5041				Server Start		Server Start		Server Start		Server Start	Server Start	

記録容量/処理速度は非圧縮時の値。

NTBACKUPでバックアップした場合、各装置の処理速度よりも遅くなる場合があります。処理性能を重視される場合にはARCserveの使用をお勧めします。

ETERNUS LT130(LT13\*\*\*\*)(SCSIモデル)をBrightStor ARCserveで使用する場合はTape Library Optionが必要です。

ETERNUS LT130 (LT13\*\*\*\*)(FCモデル)をBrightStor ARCserveで使用する場合はStorage Area Network (SAN) Optionが必要です。

内蔵LTO2ユニット(PG-LT201/PGBLT201C/PGBLT201C1)をBrightStor ARCserve Backup r11.1で使用する場合は、パッチを適用する必要があります。

内蔵DAT72ユニット(PG-DT504/PGBDT5041)をBrightStor ARCserve r11.5で使用する場合は、SP1を適用する必要があります。

Windows Server® 2003 R2 / Windows Server® 2003 x64 EditionsでBrightStor ARCserve r11.5を使用する場合は、SP1を適用する必要があります。

\* ServerStartはServerStart CD内のデバイスドライバを使用することを示します。

\*1) 1GB=1000\*byte換算値です。

\*2) 1MB/s=1000\*byte/s換算値です。

\*3) Windows® 2000 Serverのみサポート。

\*4) 対応ドライバは弊社HPよりダウンロードしてください。

\*5) Windows® 2000 Advanced Serverで4GB以上のメモリを搭載した場合は、未サポートです。



< Linux関連 >

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Red Hat Enterprise Linux								SUSE Linux Enterprise Server 9 for x86	備考
					AS (v.4 for x86)	ES (v.4 for x86)	AS (v.3 for x86)		ES (v.3 for x86)		AS (v.4 for EM64T)	ES (v.4 for EM64T)		
					NetVault 7	NetVault 7	NetVault 7	BrightStor™ ARCserve® Backup v9	NetVault 7	BrightStor™ ARCserve® Backup v9	NetVault 7	NetVault 7	NetVault 7	
VXA装置	PG-VX201	VXA-2	80	6.0									×	・定期的なクリーニング必須
LTO装置	PG-LT201 PGBLT201C PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24				×		×			×	・高信頼性が必要な基幹業務に 適している
	PG-LT301	LTO3 (Ultrium3)	400 (*1)	80 (*2)				×		×			×	
	LT13**B*	LTO2 (Ultrium2) ライブラリ	6000 12000	30									×	・高信頼性が必要な基幹業務に 適している ・自動バックアップ処理可能
	LT21HLB1		1600	35				×		×			×	
	LT13**C*	LTO3 (Ultrium3) ライブラリ	12000 24000	80				×		×			×	
	LT22HLC1		6400					×		×			×	
DAT装置	PG-DT501 PGBDT501C	DAT72	36	3.0				×		×			×	・定期的なクリーニング必須
	PG-DT502				×		×	×			×		×	
	PG-DT502D2										×		×	
	PG-DT503D			3.0									×	
	PG-DT504						×	×	×	×			×	
	PG-DT5041						×	×	×	×			×	

記録容量/処理速度は非圧縮時の値。

ETERNUS LT130(LT13\*\*\*\*)をNetVault 7でRed Hat Netprise Linux AS (v.3 for x86) / Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)の環境で使用する場合はUpdate2以降を適用する必要があります。

SCSIアレイコントローラカード(PG-140D1)を搭載したシステムでオンボードSCSIに内蔵バックアップ装置を接続した場合、BrightStor ARCserve Backup for Linuxは使用できません。

\*1) 1GB=1000byte換算値です。

\*2) 1MB/s=1000byte/s換算値です。

Windows関連事項

Windows Server® 2003 R2 x64 Edition プレインストールタイプについて

Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionのダウングレード権を使用してWindows® 2000 Serverをインストールすることができます。その際のメディアとプロダクトキーについてはWindows® 2000 Serverのパッケージ、Open License、Select、他のPRIMERGYのWindows® 2000 Serverプレインストールタイプに添付されているものをご使用ください。またWindows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Editionのダウングレード権を使用してWindows® 2000 Advanced Serverをインストールする場合についても同様です。

Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Standard x64 Edition、あるいはWindows Server® 2003, Standard Editionをインストールすることができます。またWindows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Enterprise x64 Edition、あるいはWindows Server® 2003, Enterprise Editionをインストールする場合についても同様です。

Windows Server® 2003 R2 プレインストールタイプについて

Windows Server® 2003 R2, Standard Editionのダウングレード権を使用してWindows® 2000 Serverをインストールすることができます。その際のメディアとプロダクトキーについてはWindows® 2000 Serverのパッケージ、Open License、Select、他のPRIMERGYのWindows® 2000 Serverプレインストールタイプに添付されているものをご使用ください。またWindows Server® 2003 R2, Enterprise EditionのWindows® 2000 Advanced Serverをインストールする場合についても同様です。

Windows Server® 2003 R2, Standard Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Standard Editionをインストールすることができます。またWindows Server® 2003 R2, Enterprise Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Enterprise Editionをインストールする場合についても同様です。（TX150FT S4では未サポートです。）

Windows Server® 2003 x64 Edition プレインストールタイプについて

Windows Server® 2003, Standard x64 Editionのダウングレード権を使用してWindows® 2000 Serverをインストールすることができます。その際のメディアとプロダクトキーについてはWindows® 2000 Serverのパッケージ、Open License、Select、他のPRIMERGYのWindows® 2000 Serverプレインストールタイプに添付されているものをご使用ください。またWindows Server® 2003, Enterprise x64 Editionのダウングレード権を使用してWindows® 2000 Advanced Serverをインストールする場合についても同様です。

Windows Server® 2003, Standard x64 Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Standard Editionをインストールすることができます。またWindows Server® 2003, Enterprise x64 Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Enterprise Editionをインストールする場合についても同様です。

Windows Server® 2003 プレインストールタイプについて

Windows Server® 2003, Standard Editionのダウングレード権を使用してWindows® 2000 Serverをインストールすることができます。その際のメディアとプロダクトキーについてはWindows® 2000 Serverのパッケージ、Open License、Select、他のPRIMERGYのWindows® 2000 Serverプレインストールタイプに添付されているものをご使用ください。またWindows Server® 2003, Enterprise Editionのダウングレード権を使用してWindows® 2000 Advanced Serverをインストールする場合についても同様です。（TX200FT S2では未サポートです。）



## Linux関連事項

## Linuxインストール代行サービスバンドルタイプについて

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプでは、Linux OSをお客様に代わってインストールするサービス[ インストール代行サービス ]をPRIMERGYにバンドルして出荷いたします。

## Linuxシステムにおけるバックアップソフト

Linuxにおいてバックアップ装置をご使用になる際には、以下のソフトウェアがご使用いただけます。

ディストリビューション	単体バックアップ装置	ライブラリ系バックアップ装置
Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)	NetVault 7/BrightStor™ ARCserve® Backup v9	NetVault 7/BrightStor™ ARCserve® Backup v9
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	NetVault 7	NetVault 7
Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)	NetVault 7/BrightStor™ ARCserve® Backup v9	NetVault 7/BrightStor™ ARCserve® Backup v9
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	NetVault 7	NetVault 7
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	NetVault 7	NetVault 7
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	NetVault 7	NetVault 7
SUSE Linux Enterprise Server 9 for x86	tarなどのコマンドをご利用ください。 ( 対応バックアップソフトはありません。 )	

## Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ブロックデバイスの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ブロックデバイスの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ブロックデバイスの使用可能最大サイズ
Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)	8GB	1TB未満
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	12GB	8TB未満
Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)	12GB	1TB未満
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	12GB	1TB未満
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	16GB	8TB未満
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	64GB	8TB未満
SUSE Linux Enterprise Server 9 for x86	12GB	16TB未満

## ディスクレスタイプのサポートについて

ディスクレスタイプにおけるLinux関連情報については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/linux/>)を参照下さい。  
また、サポートを必要とされるお客様につきましては、別途SupportDeskを契約して下さい。

## サポート対象ディストリビューション( )

- Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)
- SUSE Linux Enterprise Server 9 for x86

サポートディストリビューションは、本体装置により異なります。

## Linuxのサポート版数について

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプのインストール版数、および弊社PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/linux/support.html>)を参照下さい。